

## IV. 機構・職員・予算

### 1. 機 構

#### A. 機 構 の 概 要

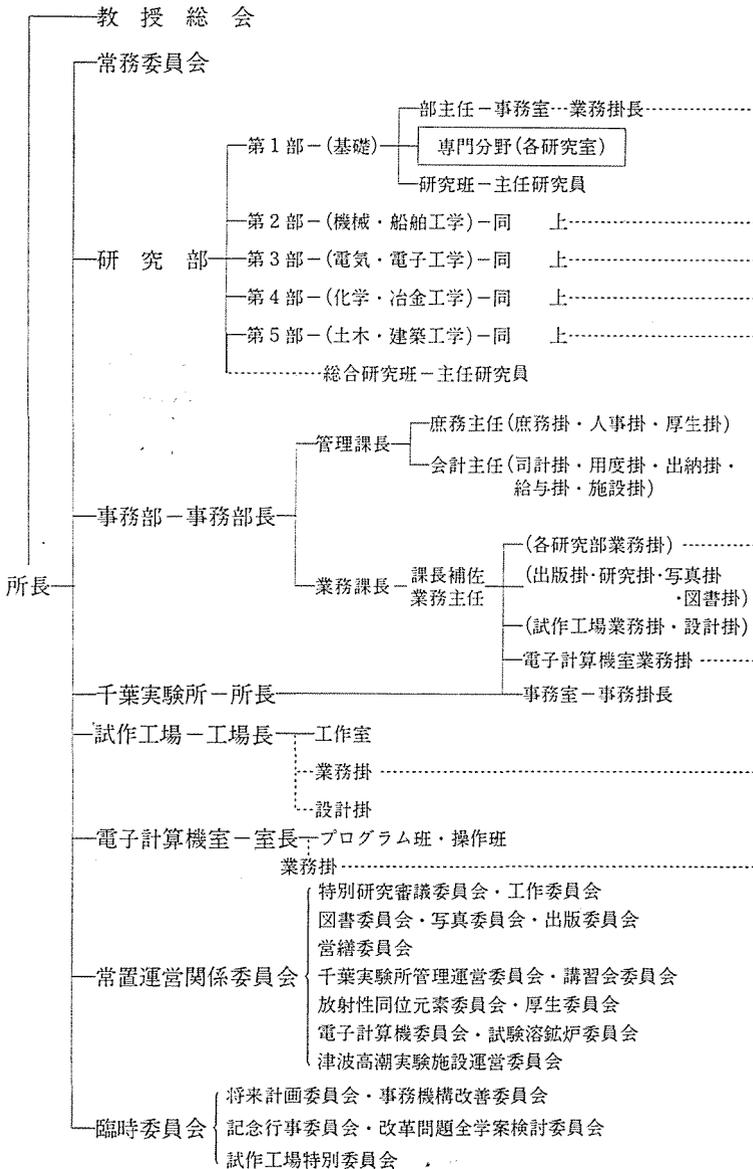
生産技術研究所は日常の業務遂行の面から、研究部と事務部に大別される。

研究部は、運営の便宜上、5部門に分かれ、部ごとに互選による2名の常務委員がいて部の日常の業務処理に当たる。常務委員のうち1名は、部主任として部を代表する。常務委員は、常務委員会を組織し、所長の諮問機関として毎月2回、必要によりそれ以上会議を開催している。研究部は研究室から成り立っており、また、その部の専門を適当に分類した専門分野表は1ページ「沿革」の項に掲げたとおりである。

本所の重要事項は教授総会で決議する。教授総会は教授・助教授によって組織され、毎月2回定期に開催している。ほかに教官同志の知識向上をはかる輪講会が毎月1回行なわれる。

そのほかに所員がそれぞれの専門的立場から組織する各種委員会、運営関係を担当する諸委員会がある。これらは各部から選出する教授・助教授または講師が委員となって構成されるもので、委員長は教授総会で選出されるものと所長委嘱によるものがある。その種類は次ページB. 機構図にあるとおりで、内容は巻末の委員会諸規定を参照されたい。

## B. 機 構 図



## 2. 職 員

### A. 現 員 表 (46. 4. 1 現在)

#### a. 職種別職員数

区分	教授	助教授	講 師	助 手	技 官	事務官	技能員	用務員	合 計
職員数	41 *7	42 *1	8	84	173	101	8	14	471 *8

\* 印併任

#### b. 諸系統別職員数

区分	研 究 系 統							事 務 系 統		技 術 系 統			技 能 勞 務 系 統				そ の 他		合 計
	教 授	助 授	講 師	研 究 担 当	研 究 員	助 手	技 官	事 務 官	技 官	技 官	事 務 官	技 能 員	用 務 員	日 雇 者	計	計			
職員数	41 *7	42 *1	8	8	42	84	172 *8	93	93	117	117	39	8	8	14	69	23	23	544 *8

\* 併任印

### B. 職 員 名 簿

研究部 (教授, 助教授, 講師, 研究担当, 研究員, 助手まで)

#### 第 1 部

官 職	氏 名	学 位	官 職	氏 名	学 位
教 授	一 色 貞 文	工 博	助 教 授	田 村 重四郎	工 博
”	大 井 光四郎	”	”	本 間 禎 一	”
”	鳥 飼 安 生	理 博	”	中 桐 滋	”
”	山 田 嘉 昭	工 博	”	小 倉 磐 夫	理 博
”	北 川 英 夫	”	”	岡 田 恒 男	工 博
”	小 瀬 輝 次	”	”	鈴 木 敬 愛	理 博
”	成 瀬 文 雄	理 博	講 師	横 内 康 人	工 博
併任教授	森 大 吉 郎	工 博	研究担当	秋 葉 鎌 二 郎	”
”	玉 木 章 夫	”	研究員	斎 藤 弘 義	”
”	富 永 五 郎	理 博	”	林 主 税	理 博
助 教 授	辻 泰	”	助 手	鈴 木 寛 文	”
”	根 岸 勝 雄	”	”	藤 森 聰 雄	”



助 手	山西	本山	芳正	孝一	助 手	藤阿	谷高	義松	信男	工 修
"	西高	山橋	正伸	一晃	"	小天	林野	幹富	夫男	"
"	古江	谷口	匡純	貴弘	"	福	岡	新五	郎	"
"					"					"

### 第 3 部

教 授	森沢	脇井	義善	雄三	工 博	研 究 員	麻吉	生田	忠裕	雄一	工 博
"	斎藤	藤邊	三成	郎文	"	"	川山	田橋	卓三	一猛	"
"	渡尾	上達	守夫	勝夫	理 博	"	岡田	本田	三博	真男	"
"	安浜	河崎	芳妻	夫二	工 博	助 手	山横	山田	幸良	章嗣	
"	野村	村口	達達	雄也	"	"	藤横	田代	和文	雄丸	
併任教授	山田	安高	楠靖	也彦	"	"	横田	葉代	之助	丸助	
助 教 授	高藤	高井	禎陽	雄一	"	"	稲北	条川	準初	博一	
"	高原	木島	幹文	雄一	"	"	市栗	原嶋	由起	男子	
"	生河	駒田	俊	明喬	"	"	中座	間川	邦知	宏之	
"	濱谷	部川	昭	望雄	"	"	市		勝	男	
講 師	長後				工 博						
研究担当											

### 第 4 部

教 授	浅加	原藤	照正	三夫	工 博	助 教 授	原後	善四	郎行	工 博
"	野山	崎邊	武亦	弘郎	"	"	早明	信茂	夫夫	"
"	山中	武村	義一	夫一	"	"	本明	和健	一学	"
"	武今	藤岡	充	稔充	"	"	妹石	洋	一浩	工 博
"	館河	添川	邦太	朗一	"	"	石高	千基	富之	理 博
"	河西		精		"	講 師	中鈴			工 博
助 教 授					"	"				"

講 師	久 保 靖	工 博	助 手	井 上 健	
"	白 石 振	"	"	杉 山 世	工 博
研究担当	吾 妻 潔	"	"	大 藏 明	工 工
"	松 下 幸	"	"	長 谷 川	工 工
研 究 員	山 本 重	"	"	篠 塚 利	工 工
"	為 高 木 重	"	"	甘 利 柄	工 理
"	高 渡 藤	"	"	鋤 豐 島	工 理
"	坂 代 井	"	"	石 木 飯	工 工
"	三 中 竹	工 博	"	堤 田 中	工 理
"	川 井 島	"	"	田 小 川	工 工
助 手	和 長 大	"	"	鳥 羽 山	工 工
"	佐 藤 乙	"	"	高 明 智	工 工
"	丸 乙	"	"		工 修

第 5 部

教 授	丸 安 隆 和	工 博	研 究 員	田 治 見	工 博
"	勝 田 高 司	"	"	角 谷 省	工 理
"	久 保 慶 三	"	"	成 瀨 良	工 理
"	池 辺 昌 平	"	助 手	木 下 井	"
"	井 田 中	"	"	白 嶋 太	工 博
"	石 井 聖 光	"	"	大 金 子	工 博
助 教 授	三 村 木 五 三	工 博	"	今 村 村	工 博
"	小 川 林 一	工 博	"	田 本 佐	工 博
"	越 高 梨 重	"	"	伊 吉 半	工 修
"	原 吉 田	"	"	重 宇 重	"
"	吉 中 村	"	"	宇 重 朝	"
併任助教	村 井 上	"	"	寺 朝 寺	"
講 師	村 高	工 博	"		工 修
研究担当	高 橋	工 工	"		工 修

事務部 (事務系役付職員まで)

事務部長	三島新吉	給与掛長	北村武夫
管理課長	瀧沢内章	施設掛長	石井野三
業務課長	竹内員見	出版掛長	水野藤田
業務課長	欠浅見	研究掛長	佐藤田
庶務主任	鶴新	写真掛長	安池遠
庶務主任	佐鶴	書掛長	池鈴
庶務主任	福新	第1部業務掛長	石吉
庶務主任	小福	第2部業務掛長	吉鶴
庶務主任	飯小	第3部業務掛長	
庶務主任	島飯	第4部業務掛長	
庶務主任	島飯	第5部業務掛長	
庶務主任	島飯	千葉実験所事務掛長(併)	

試作工場

工場長(兼務)	平尾収	助手	関豊二
工場長(講師併任)	鈴木正吾		
	4月1日付辞職		

電子計算機室

室長(講師併任)	藤田長子	Ph. D
----------	------	-------

年間異動

官職	氏名	発令年月日	備考
講師	荒木献次	45. 4. 1	助教授 (埼玉大学理工学部)
"	吉田裕	"	" 昇任
"	鈴木基之	"	休職
	小林敏雄	"	助教授採用
	小吉晴夫	"	"
	中原文雄	"	講師 "
助教授	中村英夫	"	助教授 (東京工業大学工学部)
助手	村井俊治	45. 4. 16	講師昇任
助教授	成瀬文雄	45. 6. 1	教授 "
"	石井聖光	"	" "
助手	白石振作	"	講師 "
"	村上周三	"	" "
工学部助手	猿渡雄二	45. 7. 1	" "
講師	"	45. 12. 13	死亡
"	鈴木敬愛	46. 2. 1	助教授昇任

業務課課長補佐	黒田英亮	46. 3. 12	死亡
教授	星埜和	46. 3. 31	停年
”	江上一郎	”	”
講師	原文雄	”	辞職

### C. 名 譽 教 授

故井口 常雄, 瀨藤 象二, 故友田 亘孝, 谷 安生, 星合 正治  
 故岡 宗次郎, 渡辺 要, 福田 武雄, 高橋 武雄, 永井 芳男  
 福田 義民, 坪井 善勝, 菊池 真一, 星野 昌一, 関野 克  
 岡本 舜三

## 3. 決 算 と 予 算

### A. 昭和44年度才出決算額

	金 額	百分率	百分率
総 額	934,296,021	100.00%	
職 員 給 与	570,516,021	61.06	
校 費	321,461,000	34.41	100.00%
研究部経費	204,057,903	21.84	63.48
各部研究費	98,783,110	10.57	30.73
特別研究費	82,463,000	8.83	25.65
特殊装置運転経費	14,341,500	1.53	4.46
その他	8,470,293	0.91	2.64
管理運営費	117,403,097	12.57	36.52
光熱水料	14,982,317	1.60	4.66
通信費	10,013,131	1.07	3.12
自動車管理費	2,075,046	0.22	0.65
暖房運転経費	2,232,994	0.24	0.69
会議費	1,101,201	0.12	0.34
庁舎営繕費	2,758,540	0.30	0.86
図書費	8,441,000	0.90	2.62
出版費	7,397,000	0.79	2.30
厚生経費	779,000	0.08	0.24
写真室運営費	152,000	0.02	0.05
試作工場運営経費	1,830,000	0.20	0.57
計算機室運営費	4,335,000	0.47	1.35

実験所運営費	7,846,000	0.84	2.44
事務経費	6,699,622	0.72	2.08
賃金	4,984,284	0.53	1.55
臨時経費	41,775,962	4.47	13.00
受託研究費	24,500,000	2.62	
受託研究員費	4,010,000	0.43	
職員旅費	5,459,000	0.58	
受託研究旅費	2,500,000	0.27	
各所修繕	5,850,000	0.63	

## B. 昭和45年度才出予算額

	金額	百分率	百分率
総額	1,017,544,000	100.00	
職員給与	635,000,000	62.41	
校費	337,085,000	33.13	100.00%
研究部経費	222,835,500	21.90	66.11
各部研究費	101,899,200	10.01	30.23
特別研究費	95,144,000	9.35	28.23
特殊装置運転経費	16,741,800	1.65	4.97
その他	9,050,000	0.89	2.68
管理運営費	114,250,000	11.23	33.89
光熱水料	16,400,000	1.61	4.87
通信費	10,900,000	1.07	3.23
自動車管理費	1,920,000	0.19	0.57
暖房運転経費	2,670,000	0.26	0.79
会議費	1,000,000	0.10	0.30
庁舎管繕費	3,200,000	0.32	0.95
図書費	9,180,000	0.90	2.72
出版費	6,500,000	0.64	1.93
厚生経費	920,000	0.09	0.27
写真室運営費	0	0	0
試作工場運営費	2,000,000	0.20	0.59
計算機室運営費	4,000,000	0.39	1.19
実験所運営費	8,000,000	0.79	2.37
事務経費	7,600,000	0.75	2.25
賃金	3,800,000	0.37	1.13
臨時経費	36,160,000	3.55	10.73

受託研究費	26,700,000	2.62
受託研究員費	4,500,000	0.44
職員旅費	5,939,000	0.58
受託研究旅費	2,520,000	0.25
各所修繕	5,800,000	0.57

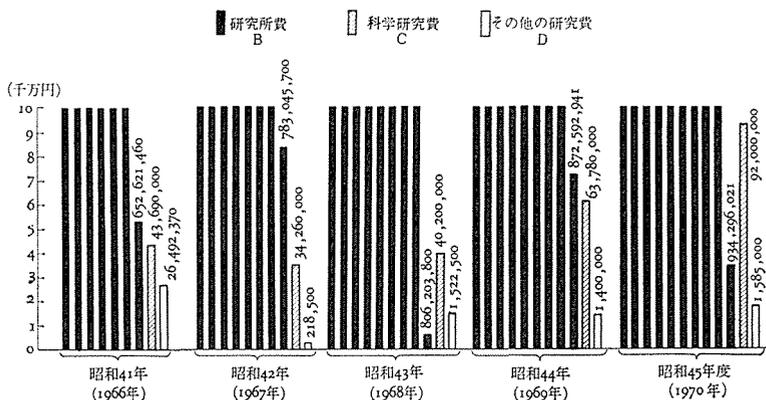
### C. 文部省科学研究費関係 (昭和45年度)

総額	92,000,000
一般研究	64,230,000
奨励研究	1,000,000
総合研究	6,950,000
試験研究	10,520,000
特定研究	9,300,000

### D. その他の研究費 (昭和45年度)

総額	86,786,352
文部省科学研究費分担金	1,585,000
奨学交付金	85,201,352

B + C + D 1,196,330,352



最近5ヶ年間の諸経費増減比較表

#### 4. 昭和 45 年度のおもな記録

##### A. 教授総会開催日表

4. 15, 5. 6, 20	6. 17, 7. 1, 15	9. 2, 16	10. 7, 21	11. 4, 18	12. 2, 16	1. 6, 20
2. 3, 17	3. 17					

##### B. 各種委員会開催日表

委員会名	開 催 日	(臨) は臨時開催日
常務委員会	4. 1, 15 5. 6, 20 6. 3, 10(臨), 12(臨), 17 7. 1, 8(臨), 15 8. 5, 19 9. 2, 16 10. 7, 21 11. 4, 18 12. 2, 16 46. 1, 6, 19 2. 3, 17 3. 3, 17	
講習会委員会	12. 8 46. 1, 26	
放射性同位元素委員	5. 22 10. 8	
記念行事委員会	2. 2	
改革調査委員会	4. 16 5. 6, 14 6. 2 7. 29 8. 26 12. 2	
将来計画委員会	7. 22, 29 9. 9, 30 10. 14, 28 11. 11, 25 46. 1, 13, 27	
事務機構改善委員会	7. 28 9. 18 10. 16 11. 27 12. 15, 46. 1, 19 2. 23	
改革問題全学案検討委員会	11. 17, 25 12. 2 46. 1, 6, 13, 20	
試作工場特別委員会	11. 11, 24 12. 9, 17, 23 46. 1, 5	
出版委員会	4. 22, 5. 27 6. 24, 7. 22, 9. 24, 10. 28 11. 25, 12. 23 46. 1, 27 2. 24 3. 24	
特別研究審議委員会	4. 8, 15, 22 5. 13, 20 6. 3, 24 7. 8, 22 9. 9, 21 11. 4, 18 12. 9, 46. 1, 6 2. 10, 17, 24	
電子計算機委員	4. 24 5. 25 6. 24 7. 10 9. 21 10. 23 11. 25 12. 14 46. 1, 23 2. 24 3. 19	
写真委員会	4. 22, 7. 8, 12. 9 46. 3. 26	
試験溶鉱炉委員	6. 12 46. 2, 5	
図書委員会	4. 22 6. 27 7. 22 9. 30 12. 2 46. 2, 24 3. 24	
厚生委員会	5. 19 6. 9 46. 3, 23	
工作委員会	7. 22 10. 28 46. 1, 27 3. 10	
管轄委員会	5. 8 7. 8, 9, 30 10. 14 11. 25 12. 9	
建築計画委員会	4. 28 5. 7 5. 12 5. 19 5. 20 5. 26 6. 2 6. 9, 9 6. 23 7. 21	

## C. 輪 講 会

通し回数	題 目	講 演 者	開催年月日
392	大気汚染と化学工学	教 授 河添邦太朗	45. 4. 15
393	最近の大学研究所建築について	助教授 原 広司	45. 5. 20
394	ラムダおよびミューロケット計画	教授(併)玉木 章夫	45. 6. 17
395	最近の工作機械振動の研究	助教授 大野 進一	45. 7. 15
396	ハイブリッドシミュレーションによる交通流の研究	教 授 森脇 義雄	45. 9. 16
397	液晶とその応用 (国際会議に出席して)	助教授 本多 健一	45. 10. 21
398	有限要素マトリックスの定式過程に関する一考察	助教授 吉田 裕	45. 11. 18
399	薄肉円筒殻の座屈について	助教授 中桐 滋	45. 12. 16
400	精密せん断における最近の発展	助教授 中川 威雄	46. 1. 20
401	自動化技術における諸問題	教 授 沢井善三郎	46. 2. 17

## D. 日 譜

昭和	西暦	月日	行 事
45	1970	4. 8	大学問題所内第5回シンポジウム開催
		5. 13	“ 第6回 “
		5. 18	中華民国科学技術視察団 閣振興団長ほか6名来所
		5. 22	大学問題所内第7回シンポジウム開催
		5. 28, 29	研究所公開, 研究室公開および講演, 映画会開催
		5. 28	財団法人生産技術研究奨励会, 理事会, 評議員会合同会議
		6. 24~26	第8回生研講習会開催 (第一次), テーマは「マトリックス法の応用」
		7. 8~10	“ (第二次) “
		8. 12	昭和45年度会計実地検査実施
		9. 3	音響実験室竣工式
		10. 27	本所運動会 (主催, 弥生会) を東大検見川グラウンドにおいて開催
		11. 30	財団法人生産技術研究奨励会, 理事会, 評議員会合同会議
46	1971	1. 30	日本歴史地理学会会員20名来所見学
		3. 24	退官記念特別講演会が開催された 第4部江上一郎教授, 題目「マグネシウムと私」 第5部星 和教授, 題目「道路を中心とする技術と交通問題」